

大会名	平成29年度北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会				
	男子決勝				
28A4	2018	年	1	月	28
				日	14 : 00
場所	津幡町運動公園体育館				



北信越バスケットボール協会

石川県高等学校体育連盟バスケットボール専門部

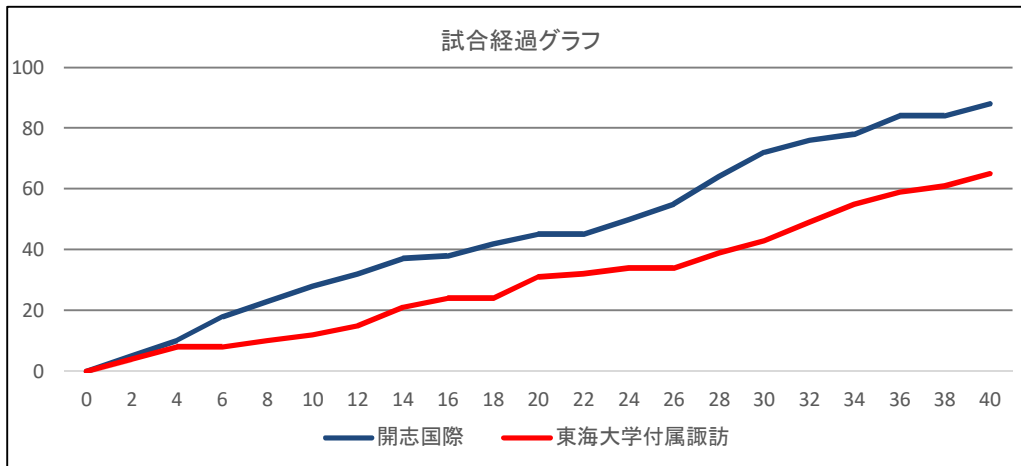
チームA		チームB
開志国際	28 1st 12	東海大学付属諏訪
	17 2nd 19	
新潟県1位	26 3rd 12	65
○	17 4th 22	長野県1位
	OT	●

主審:Referee
山内正隆 長野県
第1副審:Umpire1
白川直弘 石川県
第2副審:Umpire2
岩月遼司 長野県
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
星稜高等学校

TEAM A		開志国際					
No	s	Name	PTS	3P FG	2P FG	FT	PF
4	*	小池文哉	27	5	6	0	2
5	*	小栗瑛哉	16	3	3	1	1
6		和田蓮太郎	17	2	5	1	3
7		丸山遼	0	0	0	0	0
8		津田優弥	0	0	0	0	0
9	*	相馬迅	2	0	1	0	2
10		清水瑠衣	0	0	0	0	0
11		北本愛貴	0	0	0	0	0
12		金谷拓海	0	0	0	0	0
13		山岸秀斗	0				
14		永原陸	2	0	1	0	0
15	*	エルハジ アサン シラ	8	0	4	0	1
16		田村歩夢	0				
17	*	板澤明日起	16	1	6	1	4
18		高木拓海	0				
HC		富樫英樹	-	-	-	-	0
合計			88	11	26	3	13

TEAM B		東海大学付属諏訪					
No	s	Name	PTS	3P FG	2P FG	FT	PF
4	*	北村孝太	17	2	5	1	3
5	*	張正亮	20	0	10	0	1
6		星野颯太	0	0	0	0	0
7		糸瀬公平	4	0	2	0	1
8		益永周	0				
9		名倉慎之助	3	0	1	1	1
10	*	高原伊吹	6	0	2	2	4
11		板谷卓	0				
12		下地流星	0				
13	*	黒川虎徹	12	1	2	5	1
14		渡辺大佑	3	1	0	0	0
15	*	米山ジャバ偉生	0	0	0	0	2
16		森田蒼一郎	0				
17		関龍之介	0				
18		山城一希	0				
HC		入野貴幸	-	-	-	-	0
合計			65	4	22	9	13

s : スタートメンバー PTS : 得点 3P FG : 3分 イントシュート 2P FG : 2分 イントシュート FT : フリースロー PF : ハーフナルファウル



どちらも勝てば北信越新人大会初優勝となる開志国際(新潟)と東海大学付属諏訪(長野)の決勝戦。
 第1Q、両チームともマンツーマンディフェンス。東海大学付属諏訪は#5張の1対1から得点を狙っていく。それに対して、開志国際は#5小栗と#15エルハジの2対2から得点を狙い、#4小池の3Pシュートが炸裂したため、第1Qは28-12で終了。
 第2Q、東海大学付属諏訪はリバウンドから速攻オフェンスにシフトチェンジし、#15エルハジのディフェンスが戻ってくる前にシュートまで持ち込む。#4北村のオフェンス力が光ったが、開志国際も#17板澤のキレのあるドライブにより連続得点を許さず、45-31と開志国際がリードを保ったまま前半を終了した。
 第3Q、両チームシュートが入らず攻めあぐねる展開となるが、開志国際は#6和田、#4小池の3Pシュートが効果的に決まる。一方の東海大学付属諏訪は#5張のインサイドシュートや#13黒川の3Pシュートなど中外攻め分けるが、得点はなかなか伸びない。残り3分で、東海大学付属諏訪がタイムアウトを請求し、オールコートプレスでミスを誘ったが、開志国際はひっかからずカウンターにボールをつないで簡単なシュートに持ち込み、さらに得点差を広げて、72-43で最終クォーターに入る。
 第4Q、東海大学付属諏訪がオールコートプレスを続け、#4北村が8点をとる活躍を見せたが、追いつけず88-65で開志国際が夏の北信越大会に続いて優勝の栄冠を勝ち取った。